

事務事業の点検評価結果報告書

令和3年度

関市教育委員会

令和4年10月15日

はじめに

関市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、令和3年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価（以下「点検評価」という。）を行い、その結果に関する報告をここにまとめました。

1 点検評価の実施経過

点検評価の実施については、教育委員会各課がその所管する事務事業について自己評価（1次評価）を行い、点検評価をより適正なものとするため、外部の学識経験者等による教育委員会評価委員が各課の作成した点検評価表をもとにヒアリングを行い評価委員により評価（2次評価）を行いました。

その後、教育委員会は、教育委員会評価委員の評価（2次評価）をもとに、教育委員会会議において最終評価を実施しました。詳細については、教育委員会点検評価表全件リストに掲載しました。

2 点検評価の実施方法

この点検評価の方法につきましては、「令和3年度教育委員会各課等の方針と重点」に基づいて実施した事業について、次に示す4区分により達成度を評価しました。

- A 順調に執行している
- B 概ね順調に執行している
- C 執行見込みであるが、課題があるもの
- D 順調に執行されていないもの

<点検評価最終結果について>

全体の概要

評 定	内 訳	率	前年度内訳	前年度率
A 順調に執行している	52	71.2%	41	64.1%
B 概ね順調に執行している	19	26.1%	17	26.6%
C 執行見込みであるが、課題があるもの	0	0%	2	3.1%
D 順調に執行されていないもの	2	2.7%	4	6.2%
計	73	100.0%	64	100.0%

○ 各課別の点検評価結果の概要

課 題	A	B	C	D	前年度			
					A	B	C	D
教育総務課	12	6	0	0	8	9	0	0
学校給食センター	5	0	0	0	7	0	0	0
学校教育課	10	5	0	0	9	5	0	0
まなびセンター	21	7	0	2	12	3	2	4
関商工高等学校	4	1	0	0	5	0	0	0
計	52	19	0	2	41	17	2	4

※地域事務所の事務事業評価については、予算措置をする教育委員会の各課が包括して実施しています。

3 教育委員会評価委員

点検評価にあたっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の「教育に関し学識経験者の知見の活用を図るものとする。」という規定に基づき、下記の委員の方に関市教育委員会評価委員を委嘱し、点検評価（2次評価）を実施しました。

氏 名	職業又は前職
山 田 美穂子	会社役員
市 原 輝 明	元中学校長
北 瀬 美 幸	保護司

教育委員会点検評価表全件リスト（令和3年度事業）

課名 教育総務課

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			山田	市原	北瀬		
1	教育委員会事業	A	A	A	A	A	A
2	教育委員会事務局事業	A	A	A	A	A	A
3	教職員住宅管理運営事業	B	B	B	B	B	B
4	奨学資金貸付事業	B	B	B	B	B	B
5	中濃校舎管理事業	A	A	A	A	A	A
6	通学路安全対策事業	B	B	B	B	B	B
7	校務員配置事業	A	A	A	A	A	A
8	校舎等管理事業	A	A	A	A	A	B
9	新型コロナウイルス感染症対策事業	A	A	A	A	A	—
10	備品管理事業	A	A	A	A	A	A
11	学校プール管理事業	A	A	A	A	A	B
12	学校運営費配分事業	A	A	A	A	A	B
13	運動場管理事業	B	B	B	B	B	B
14	教育ネットワーク・教職員用パソコン整備事業	A	A	A	A	A	A
15	スクールバス事業	A	A	A	A	A	A
16	学校建設事業	A	A	A	A	A	A
17	放課後子ども教室事業	B	B	B	B	B	B
18	留守家庭児童教室事業	B	B	B	B	B	B

課名 学校給食センター

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			山田	市原	北瀬		
1	地産地消推進事業	A	A	A	A	A	A
2	食物アレルギーについての対応	A	A	A	A	A	A
3	献立の充実	A	A	A	A	A	A
4	食育広報事業	A	A	A	A	A	A
5	公設卸売市場との連携	A	A	A	A	A	A

課名 学校教育課

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			山田	市原	北瀬		
1	人権推進教育事業	A	A	A	A	A	A
2	研究指定校、モデル事業	A	A	A	A	A	B
3	学校安全事業	B	B	B	B	B	B
4	特別支援事業	A	A	B	A	A	A
5	教育相談事業	B	B	B	B	B	B
6	就学支援事業	A	A	A	A	A	A
7	わかあゆプラン事業	A	A	A	A	A	A
8	外国籍児童生徒等教育相談員派遣事業	A	A	A	A	A	A
9	学校図書利用促進事業	A	A	A	A	A	A
10	学校各種教育事業	B	B	B	B	B	B
11	学校保健事業	B	B	B	B	B	B
12	P T A 連合会活動支援	A	A	A	A	A	A
13	学校教材整備事業 電子黒板等の整備	A	A	A	A	A	A
14	情報機器整備事業	A	A	A	A	A	A
15	小中学校スクールサポート事業	B	B	B	B	B	—

課名 まなびセンター

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			山田	市原	北瀬		
1	教職員資質向上研修 オンラインによる研修	A	A	A	A	A	—
2	教職員資質向上研修 夏期重点研修	A	A	A	A	A	—
3	教職員資質向上研修 初任者研修	A	A	A	A	A	A
4	教職員資質向上研修 2年目研修	B	B	B	B	B	A
5	教職員資質向上研修 ホープ・パワーアップ研修	B	B	B	B	B	A
6	教職員資質向上研修 GIGA スクール担当者会	A	A	A	A	A	A
7	教職員資質向上研修 研究員会	A	A	A	A	A	B
8	教職員資質向上研修 学級活動委員会	A	A	A	A	A	C
9	教職員資質向上研修 教育実践記録	A	A	A	A	A	B
10	教職員資質向上研修 文献資料室の活用	A	A	A	A	A	B
11	ICT 活用推進 ICT 支援員による学校訪問	A	A	A	A	A	—
12	ICT 活用推進 プログラミング出前授業	A	A	A	A	A	—
13	ICT 活用推進 情報モラル研修	B	B	B	B	B	—
14	ICT 活用推進 ドローンコンテスト	D	D	D	D	D	—
15	不登校児童生徒支援 教育相談窓口開設	A	A	A	A	A	A

課名 まなびセンター

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			山田	市原	北瀬		
16	不登校児童生徒支援 ふれあい教室運営	A	A	A	A	A	A
17	不登校児童生徒支援 ふれあい親の会開催	A	A	A	A	A	A
18	不登校児童生徒支援 通信制高等学校等説明会	A	A	A	A	A	—
19	不登校児童生徒支援 子ども家庭課との連携	B	B	B	B	B	—
20	不登校児童生徒支援 発達心理検査実施	A	A	A	A	A	—
21	児童生徒の学習支援・能力開発 子ども美術展	A	A	A	A	A	A
22	児童生徒の学習支援・能力開発 関市版寺子屋事業	A	A	A	A	A	A
23	児童生徒の学習支援・能力開発 連合音楽会	D	D	D	D	D	D
24	社会教育活動支援 プラネタリウム	B	B	B	B	B	D
25	社会教育活動支援 市民天体観望会	B	B	B	B	B	D
26	社会教育活動支援 パソコン同好会支援	B	B	B	B	B	C
27	所報「ときめき」発行	A	A	A	A	A	A
28	ホームページ、ICT支援サイト	A	A	A	A	A	A
29	「まなびセンターの歩み」発行	A	A	A	A	A	A
30	文献資料室の運営	A	A	A	A	A	—

課名 関商工高等学校

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			山田	市原	北瀬		
1	教育振興事業	A	A	B	A	A	A
2	学校施設の維持管理事業	B	B	B	B	B	A
3	施設整備事業	A	A	A	A	A	A
4	教職員給与等管理事業	A	A	A	A	A	A
5	保健事業	A	A	A	A	A	A

教育委員会点検評価別表（令和3年度事業）

評価委員の意見等を掲載しています。

《教育総務課》

山田評価委員

番号	3	評価	B	事業名	教職員住宅管理運営事業
	5		A		中濃校舎管理事業
<p>空き施設の有効利用は、良いと思います。安心安全な生活環境整備や利用法を望みます。</p>					

市原評価委員

番号	3	評価	B	事業名	教職員住宅管理運営事業
<p>教職員住宅の活用について、民間への貸与等々の工夫で、さらに有効的な活用が進められることを期待します。</p>					

山田評価委員

番号	6	評価	B	事業名	通学路安全対策事業
	10		A		備品管理事業
<p>自然災害や生命にかかわる事例などが各地で多発しているので、安全対策をより強化してほしいです。</p>					

市原評価委員

番号	18	評価	B	事業名	留守家庭児童教室事業
<p>寺尾小を除く市内全小学校に留守家庭児童教室が設置され、子どもたちと保護者への支援の充実が図られています。今後も教室へのニーズは増大すると推察します。 県放課後児童支援員認定資格研修への積極的な参加を促してください。</p>					

北瀬評価委員

番号	18	評価	B	事業名	留守家庭児童教室事業
<p>県放課後児童支援員認定資格研修について、多くの指導員が積極的に参加し、認定資格を取得するよう啓発をお願いしたい。</p>					

《学校給食センター》

山田評価委員

番号	1	評価	A	事業名	地産地消推進事業
さらなる地産地消、季節感を育てる食育を進め、安心安全な給食提供をお願いします。					

市原評価委員

番号	1	評価	A	事業名	地産地消推進事業
地元産の食材について、知る機会の少ない子どもたちにとって、センターが実施されている地産地消推進事業は、地域の良さを知る機会の一つの場となっていると感じました。今後の取組を大いに期待しています。					

北瀬評価委員

番号	2	評価	A	事業名	食物アレルギーについての対応
食物アレルギー対応食の提供は、児童生徒や保護者の反応も良好と見受けられ、順調に進んでいるようで安心しています。引き続き、最善の注意を払い、安心安全な学校給食の運営に努めていただきたい。					

市原評価委員

番号	3	評価	A	事業名	献立の充実
二つの給食センターにおける献立の工夫は、素晴らしい取組です。特に、新型コロナウイルス対策として実施されている「黙食」の時間に、聞いて味わう音楽給食等は、辛い思いをしている子どもたちの心を豊かにしてくれる取組だと感じました。					

北瀬評価委員

番号	3	評価	A	事業名	献立の充実
関市、板取の両センターともに、児童生徒が興味関心を示すような献立作成に力を入れておられ素晴らしいと思います。 また、コロナ禍で「黙食」を余儀なくされる児童生徒にとって、こうした献立が「給食の時間が楽しい」と思えることにつながり、さらに充実した学校生活を送れることを期待しています。					

山田評価委員

番号	5	評価	A	事業名	公設卸売市場との連携
食材等の廃棄を極力抑えられるようにSDGsの意識を育て高めてほしい。					

《学校教育課》

市原評価委員

番号	1	評価	A	事業名	人権推進教育事業
中学校における制服選定の取組が、生徒や保護者の人権意識（特にジェンダーフリー）を高める取組となったとの説明がありました。人権感覚を具体的な場で高めることができた成果を大切に生かしていけるよう期待します。					

山田評価委員

番号	2	評価	A	事業名	研究指定校、モデル事業
国語（言語を含む）教育を大切にしてほしい。					

山田評価委員

番号	3	評価	B	事業名	学校安全事業
通学途中、特に開放的な気分の下校時には、適正な見守りや地域での声かけが必要だと感じます。					

市原評価委員

番号	3	評価	B	事業名	学校安全事業
学校安全支援者の配置は、学校規模等によって人数の工夫が必要だと思います。また、支援者への研修とともに管理職への指導で、取組内容を充実させることが大切だと感じました。					

市原評価委員

番号	4	評価	B	事業名	特別支援事業
通級指導教室で指導する教員の指導力向上を求める保護者の声は、年々高まってくると考えられます。人材が限られている現状はありますが、市としての研修の充実を図ってください。					

市原評価委員

番号	5	評価	B	事業名	教育相談事業
不登校児童生徒の増加傾向が続く中、オンライン授業で一人ひとりの子どもたちとつながろうという取組は、大いに評価できます。また、今後校内フリースクールの導入も検討されているようですが、他県の実施状況等を充分検討し取り組んでください。					

北瀬評価委員

番号	5	評価	B	事業名	教育相談事業
<p>コロナ禍が家庭生活に大きな影響を与えたことで、保護者の生活も変化し、それが少なからず児童生徒の不登校につながっているように感じています。</p> <p>こうした状況の中で、不登校児童生徒の居場所となるフリースクール計画は、個に合った教育の観点からも大変効果的な事業だと思います。是非実施していただきたいと思っています。期待しています。</p>					

山田評価委員

番号	13	評価	A	事業名	学校教材整備事業 電子黒板等の整備
	14		A		情報機器整備事業
<p>電子化による学習形態の劇的な変化により、教員、児童生徒に格差が広がらないように努めてほしい。</p>					

市原評価委員

番号	13	評価	A	事業名	学校教材整備事業 電子黒板等の整備
<p>全普通教室に電子黒板が導入され、子どもたち一人ひとりが手にしているタブレットとつなぎながら、進化した授業が展開されています。機器の活用方法とともに、授業内容のさらなる充実を期待しています。</p>					

《まなびセンター》

山田評価委員

番号	1	評価	A	事業名	教職員資質向上研修 オンラインによる研修
<p>コロナ禍で対面不可の状況では、オンライン活用のメリットは大きいと思います。今後もさらに広く濃い情報伝達につながることを進めていただきたいです。</p>					

山田評価委員

番号	2	評価	A	事業名	教職員資質向上研修 夏期重点研修
<p>人権教育の大切さを全教職員が共有し、ゆとりをもって取り組んでほしいです。</p>					

市原評価委員

番号	1	評価	A	事業名	教職員資質向上研修 オンラインによる研修
	2		A		教職員資質向上研修 夏期重点研修
<p>教職員の資質向上の役割を担っているまなびセンターが、コロナ禍での取組として、オンライン研修や夏期の研修を計画的に実施され、教職員の支援の充実を図ってみえること、大いに期待しています。</p>					

山田評価委員

番号	3	評価	A	事業名	教職員資質向上研修 初任者研修
	4		B		教職員資質向上研修 2年目研修
	5		B		教職員資質向上研修 ホープ・パワーアップ研修
研修等により、若手教員の授業力、人間力の向上をより高めていただきたいと思います。					

市原評価委員

番号	11	評価	A	事業名	ICT活用推進 ICT支援員による学校訪問
ICT支援員3名による学校訪問、タブレットの活用支援は、特に機器の使用が得意でない教職員の支えになっていると感じました。支援内容の充実をさらに図ってください。					

山田評価委員

番号	15	評価	A	事業名	不登校児童生徒支援 教育相談窓口開設
	16		A		不登校児童生徒支援 ふれあい教室運営
	17		A		不登校児童生徒支援 ふれあい親の会開催
	18		A		不登校児童生徒支援 通信制高等学校等説明会
	19		B		不登校児童生徒支援 子ども家庭課との連携
児童生徒の心のケアに他機関との協働の活用を進めてほしいです。ベテラン、経験者の力が有効だと感じます。					

市原評価委員

番号	19	評価	A	事業名	不登校児童生徒支援 子ども家庭課との連携
不登校の理由が様々な子どもたちへの支援は、家庭状況も含め、できる限り多くの情報を集めながら対応することが大切だと思います。子ども家庭課や他の機関との連携をさらに推進してください。					

山田評価委員

番号	21	評価	A	事業名	児童生徒の学習支援・能力開発 子ども美術展
子ども美術展は、開催期間が短いので、ウェブ開催は多くの人が見ることができ、とても良いと思います。今後も併用していただきたいと思います。					

市原評価委員

番号	23	評価	D	事業名	児童生徒の学習支援・能力開発 連合音楽会
新型コロナウイルス感染予防対策のため、市連合音楽会を中止せざるを得なくなったこと、やむを得ない対応です。今後の対応を子どもたちや保護者、教職員の意見を大切にしながら、充実した音楽会となることを期待しています。					

北瀬評価委員

番号	23	評価	D	事業名	児童生徒の学習支援・能力開発 連合音楽会
<p>年度当初は開催が予定されていた連合音楽会もコロナ禍の影響によりやむを得なく中止となりましたが、コロナ感染対策や生活にも徐々に慣れつつある状況の中で様々な方法が研究されて学校行事が行われている自治体もあります。これまでと同じ方法に捉われず、可能性を探り、是非とも連合音楽会を再開していただきたいと思います。</p>					

《関商工高等学校》

山田評価委員

番号	1	評価	A	事業名	教育振興事業
<p>専門性の高い科目は、設備投資が大変だと思うが、より実践的な技術や知識を得られるよう努めていただきたいです。また、市内企業、団体との産学提携は、積極的に進めてほしいです。</p>					

市原評価委員

番号	1	評価	B	事業名	教育振興事業
<p>一昨年、生徒タブレットと書画カメラが配備されました。その活用状況等について、資料等で説明していただくと、今後の機器配備の参考になると思います。</p>					

北瀬評価委員

番号	1	評価	A	事業名	教育振興事業
<p>工業科、商業科ともに実習装置や教育振興備品など、大変充実していると感じています。</p> <p>こうした実業高校の設備等は常に新しい機器が求められますが、他自治体の高校の実態についても把握していただき、今後の予算編成の参考にされることを望みます。</p>					

山田評価委員

番号	2	評価	A	事業名	学校施設の維持管理事業
<p>施設については、引き続き、安心安全のために点検をお願いします。</p>					

山田評価委員

番号	5	評価	A	事業名	保健事業
<p>薬物乱用防止講座等、生命や尊厳に係わる内容については、できるだけ生の声を聞いてほしいです。説得力が違うと思います。</p>					

目標値の設定 【関市教育振興計画からの抜粋】

基本方針1 多様性を尊重し、豊かな心を身に付ける教育の実現

1. 多様なニーズに対応した教育機会の提供

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
友達と協力するのは「楽しい」という児童生徒の割合	小学校 69.3% 中学校 68.2% 平均 68.8%	小学校 72.0% 中学校 71.0% 平均 71.5%	小学校 74.0% 中学校 73.0% 平均 73.5%
自分と違う意見について考えるのは「楽しい」「どちらかといえば楽しい」という児童生徒の割合	小学校 61.4% 中学校 73.8% 平均 67.6%	小学校 64.0% 中学校 75.0% 平均 69.5%	小学校 66.0% 中学校 77.0% 平均 71.5%
初期適応指導教室の利用児童生徒数	20人	25人	30人
外国人児童生徒等教育相談員の学校訪問回数（指導時間数）	1,640回 (4,100時間)	1,800回 (4,500時間)	2,000回 (5,000時間)
就学援助費認定者数（%維持）	11.0%	11.0%	11.0%

2. 豊かな心の育成

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	小学校 87.5% 中学校 86.1% 平均 86.8%	小学校 90.0% 中学校 89.0% 平均 89.5%	小学校 92.0% 中学校 91.0% 平均 91.5%

3. 教育相談・教育支援の充実と学校支援体制の構築

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
学校へ行くのは「楽しい」「どちらかといえば楽しい」と思う児童生徒の割合	小学校 82.8% 中学校 83.8% 平均 83.3%	小学校 85.0% 中学校 86.0% 平均 85.5%	小学校 87.0% 中学校 88.0% 平均 87.5%
子ども家庭課等と不登校児童生徒情報の情報共有率	50.0%	55.0%	60.0%
「ふれあい教室」状況改善児童生徒割合	80.0%	83.0%	85.0%

4. 安全安心な教育環境の整備

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを「守っている」「どちらかといえば守っている」という児童生徒の割合	小学校 72.1% 中学校 67.4% 平均 69.8%	小学校 75.0% 中学校 70.0% 平均 72.5%	小学校 78.0% 中学校 73.0% 平均 75.5%

1日当たり、テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンも含む）をするのが2時間以内という児童生徒の割合	小学校	53.6%	小学校	56.0%	小学校	58.0%
	中学校	44.7%	中学校	47.0%	中学校	49.0%
	平均	49.1%	平均	51.5%	平均	53.5%

基本方針2 個別最適な学びと協働的な学びを通して、確かな学力を身に付ける教育の実現

1. 確かな学力の育成

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
「コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」の設問で、『ほぼ毎日』と回答する割合	小学校 34.6% 中学校 3.6%	80.0%	100.0%
学校の授業時間以外に、普段1日に1時間以上勉強をしているという児童生徒の割合	小学校 91.7% 中学校 93.5% 平均 92.6%	小学校 93.0% 中学校 95.0% 平均 94.0%	小学校 95.0% 中学校 97.0% 平均 96.0%
国語・算数（数学）の授業の内容は「よくわかる」「どちらかといえばわかる」という児童生徒の割合	小学校 国語 78.0% 算数 84.8% 中学校 国語 76.2% 数学 74.9%	小学校 国語 80.0% 算数 86.0% 中学校 国語 78.0% 数学 77.0%	小学校 国語 82.0% 算数 88.0% 中学校 国語 80.0% 数学 79.0%
関市独自の取組（「英語語彙力テスト」「英語スピーチコンテスト」「プログラミングコンテスト」「理科・数学コンテスト」「ビブリオトーク」等）への参加校の割合	50.0%	70.0%	80.0%
自分が思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことが「できる」「どちらかといえばできる」という児童生徒の割合	小学校 66.5% 中学校 79.0% 平均 72.6%	小学校 69.0% 中学校 81.0% 平均 75.0%	小学校 71.0% 中学校 83.0% 平均 77.0%
明日を担う人づくり事業（地域企業と連携した出前授業・職業講話）参加校の割合	50.0%	60.0%	70.0%

2. 教職員の資質や指導力の向上

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
夏季資質向上研修参加者の評価	70.0%	75.0%	80.0%
オンライン研修参加者の評価	70.0%	75.0%	80.0%
時間外勤務時間45時間以上の職員の割合	30.0%未満	20.0%未満	10.0%未満

3. 健やかな体の育成

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
肥満傾向の児童生徒の割合 (学校保健健康状態調査)	小学校：9.6% 中学校：9.3%	小学校：9.5%未満 中学校：9.0%未満	小学校：9.0%未満 中学校：8.7%未満
朝食を食べている児童生徒の割合	小学校：88.9% 中学校：87.0%	小学校：90.0% 中学校：90.0%	小学校：91.0% 中学校：91.0%
新体力テスト総合得点 (全国体力・運動能力、運動習慣等調査)	小5男子：52.9(全国：52.5) 小5女子：55.5(全国：54.6) 中2男子：42.8(全国：41.2) 中2女子：48.9(全国：48.6)	小5男子：53.0 小5女子：56.0 中2男子：43.0 中2女子：49.0	小5男子：54.0 小5女子：56.5 中2男子：44.0 中2女子：50.0

4. キャリア教育の充実

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
将来の夢や目標をもっているという児童生徒の割合	小学校 78.9% 中学校 76.2% 平均 77.6%	小学校 81.0% 中学校 78.0% 平均 79.5%	小学校 83.0% 中学校 80.0% 平均 81.5%
中高交流教育(出前授業)の年間実施校数	1校	3校	5校
夢の教室実施校割合(全27校)	55.0%	100.0%	100.0%

5. 就学前教育・保育の充実

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
幼・保・小連携推進会議の年間実施回数	2回	2回	2回

基本方針3 ふるさと教育や地域との関わりを通して、社会性を身に付ける教育の実現

1. ふるさと教育の充実

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
総合的な学習の時間等でふるさと教育を実施している学校の割合	100.0%	100.0%	100.0%
自分には「よいところがある」「どちらかといえばある」という児童生徒の割合	小学校 77.8% 中学校 81.1% 平均 79.4%	小学校 80.0% 中学校 83.0% 平均 81.5%	小学校 83.0% 中学校 85.0% 平均 84.0%

2. 地域に開かれた学校づくり

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
今住んでいる地域の行事に参加しているという児童生徒の割合	小学校 63.8% 中学校 69.7% 平均 66.8%	小学校 66.0% 中学校 72.0% 平均 69.0%	小学校 68.0% 中学校 74.0% 平均 71.0%

基本方針4 地域や他校種との連携を通して、専門性の高い教育の実現（関商工高等学校）

1. 地域社会人（地域人材）の育成

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
就職内定率 （内地元企業）	100.0% (38.6%)	100.0% (45.0%)	100.0% (50.0%)

2. 専門教育の推進

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
全商検定1級 3種目以上取得者割合	40.0%	45.0%	50.0%
ジュニアマイスター顕彰特別表彰・ ゴールド・シルバー取得者割合	14.0%	17.0%	20.0%

3. 部活動の充実

	令和3年度	令和8年度	令和13年度
部活動加入率	99.6%	100.0%	100.0%